

令和8年度 開南大学夏期中国語/英語・台湾文化研修 報告書

総合管理学部総合管理学科1年

齊藤 桃子

2026年8月16日から30日までの2週間、私は開南大学の短期研修に参加しました。この研修では中国語か英語のどちらを学ぶか選択できます。私は英語を選択しました。研修では午前に3時間の授業、午後に文化研修や観光といったスケジュールが行われ、充実した時間を過ごすことができました。

【語学学習】

今回の研修では中国語2クラス英語1クラスに分かれて語学の勉強を行いました。英語を教えてくれたAvaはとても明るく親しみやすい先生でした。私は中学生レベルの単語でしか日常会話をすることができませんでしたが、Avaは私が言いたいことが何か想像し手助けをしてくれました。クラスの雰囲気もとてもよく、失敗をおそれずに英語でなにか言ってみることに挑戦しやすい環境だったのはとても恵まれていたと思います。

【成果発表】

研修の最後には3クラス合同で成果発表会があります。私たち英語クラスは、英語の曲5つをサビだけつなぎ合わせ、ダンスや歌の発表をおこないました。他のクラスも歌の発表や中国語で劇を発表していました。私は普段洋楽を聞かないので英語で歌詞を覚えるのに苦労しましたが、同じクラスの人と一緒に練習するのはとても楽しくより仲が深まった時間だったと思います。今回の研修では全国各地の大学から60人以上の大学生が参加しており、いろんな人と交流できるのも醍醐味だと感じました。

【生活面】

私たち研修生は大学の寮で寝泊まりをします。4人部屋で他の大学出身の人とも関わるができます。食事は朝食と夕食は各自で、昼食は大学から提供されることが多かったです。夕食はuberや近くのお店で台湾の料理を頼むこともできます。台湾の料理は安いうえにとっても美味しく、日本人の味覚にあっているとおもいます。チューターさんや友達と寮のロビーで夕食を食べたことも楽しい思い出の1つです。

【文化体験・観光】

前述したように午後からは文化体験や観光などの活動がメインでした。文化体験ではキーホルダーづくり・パイナップルケーキづくりを行い、台北101や九份・十分などの観光地を訪れました。半日または1日ある自由時間では自分達で台湾の好きなところに行くこと

ができます。私は西門、X-park（水族館）、桃園駅周辺などに行きました。台湾のバスやタクシーは日本より安く、学生でも気軽にのることができます。外国で自分達の力で路線図や時刻表を調べて目的地まで移動することは大変だったけれどいい経験になりました。

【最後に】

私は高校生の頃から海外に興味をもっていました、忙しいからなどと言い訳をしてなかなか国際交流にチャレンジをすることができていませんでした。今回2週間の短期研修で英語の勉強や台湾文化を知ることができました。本当に楽しく、研修に参加してよかったと思っています。台湾の人々はとてもやさしく台湾が大好きになりました。大学生のうちに今回行かなかった地域にも行ってみたいと思います！そして今度はもっと自分で現地の人とコミュニケーションがとれるように英語と中国語の勉強に力をいれたいです。

